

韓国の居酒屋の敷居が低くなる？

ソウル事務所

1 仕事帰りの楽しみといえば

仕事帰りに居酒屋で一杯。日本ではよく見かける光景ですね。特に寒い季節は熱燗でキューッとやるのが何よりの楽しみという方もいらっしゃるのではないのでしょうか？我々韓国で働く日本人サラリーマンもお酒は大好き。日本でもおなじみの焼肉やチゲをはじめとした韓国料理店に通う日本人も多く見られます。そして近年、韓国では日本式の居酒屋が大人気。韓国では特定の料理の専門店が多いのですが、居酒屋には様々なメニューがあることが人気のようで、日本人客だけではなく地元韓国のお客さんで賑わっています。

でも、日本酒好きの私たちにとって辛いのがその値段。韓国では 720ml 瓶で小売価格が 4 万ウォン（約 2,900 円）から 6 万ウォン（4,300 円）もします（もちろん高いものは天井知らず！）。お店で買おうにもちょっと手が出にくい価格ですね。居酒屋で飲もうと思っても日本酒は割高に感じられます。

2 ちょっと手が出にくい日本酒。なぜ？

日本酒の値段が割高になるのには理由があります。お酒には税金が課せられますが、それが日本に比べ 60% も高いのです。それが価格に転嫁されて割高になってしまいます。日本から輸入するので関税がかかるのはやむを得ないのですが、高率関税がお酒好きな私たちから日本酒の楽しみを遠ざけているひとつの要因になっています。

もうひとつは流通の問題。これまで韓国では酒税法などにより、酒類輸入業者と卸売業などの兼業が禁止されていました。そのため韓国側の酒類輸入業者がまず日本酒を輸入し、それが卸売業者に流れるという複雑なルートになっており、価格を押し上げる要因になっていたのです。

しかし、2012 年 2 月に酒税法施行令が改正され、日本酒メーカーなど日本側生産者から購入した日本酒を、直接韓国側の消費者に販売することができるようになりました。つまり飲食店が直接輸入して直接消費者に提供できるようになったのです。

3 韓国で広がる日本酒の楽しみ

韓国では折からの健康ブームに乗って日本食が人気になっており、すでに日本とほとんど変わらない味の日本食が多く出回っています。しかし日本食に合うのはやはり日本酒のほうです。

クリアソウル事務所では海外活動サポート事業として地域物産展を韓国首都圏の新世界百貨店で開催しています。この事業では日本の自治体の協力をいただき日本各地の産品を韓国で販売して市場開拓を支援しながら、地域の観光PRを行っています。2011 年 11 月から 12 月にかけては鳥取県物産展を開催。この 3 月には香川・愛媛物産展が予定されています。この物産展では各地の日本酒も販売しています。2011 年 10 月には韓国外国語大学で在ソウルの各機関とともに日本酒試飲会を開催した他、今月からはソウル中心部の日本居酒屋にご協力いただき、日本酒を含む各地域の魅力をPRする取組みを始めました(3 月は静岡県)。クリアはこれからもこうした事業を通して日本酒の普及に努めたいと考えています。今回の流通構造の簡素化により日本酒の値段が下がり、在住日本人だけではなく、より多くの韓国の方が日本酒の楽しみを覚えてくれればうれしいです。

(塚本所長補佐 秋田県派遣)

